

2学年だより・わかば

渋谷区立上原中学校第2学年

令和4年2月25日（金）第45号



<2月24日（木）朝の学活。最後の定期考査に向けて先生から話を聞いています>

考査が終わりました。ここまでを振り返ろう👉

2年生最後の考査が終わりました。毎回聞きますが、事前の準備は万全でしたか。

次の定期考査は3年生の前期中間考査。この期間の成績は上級学校の選択に大きく影響します。その時期が迫っています。

ところで、3年生は21日（月）に都立高校の学力検査がありました。この日は、朝鉄道の人身事故があり、テストの開始を全校1時間遅らせました。3年生に聞いたら、「不安だったが、慌てず試験時間まで学習をした」ようです。このようにいろいろなことが起きても、日ごろの準備があればあまり慌てずに行動をすることができます。皆さんは、急な変更があっても慌てませんか。

新年度になったら、校外の模擬テストを受けて、自分の実力でどれくらい他の受験者に立ち向かうことができるか、確かめようとする人が増えてくると思います。

考査は入学検査の練習にもなっています。試験に向けてどのように気持ちを持っていくか。時間配分はどうするか。そのためにはどのような準備が必要か。いろいろなことを考えなくてははいけませんね。

さあ、記憶が鮮明なうちに考査の復習を始めましょう。できなくて悔しい気持ちをばねにできる時間はそう長くはありませんよ。「まあいいか～」となってしまううちに実施しましょう。

お返事ありがとうございます

お返事ありがとうございます。学年末考査が終わり、いよいよ今年度のまとめの時期に入りました。修学旅行の練習として校外学習は次につながっています。集団行動をしながら楽しむことを覚えてほしいです。

- ・横浜の校外学習、正直驚きました。入学からいつもコロナと隣り合わせで、何かと楽しい思い出を作ってもらいたいという先生方の温かい気持ちを痛感いたしました。
- ・校外学習の企画ありがとうございます。3月9日晴天になるといいですね。
- ・校外学習の実施を予定してくださり感謝いたします。とても楽しみにしているようです。
- ・横浜でウォークラリー、楽しみですね！お天気が良いといいですね。
- ・黙食と食後の速やかなマスクは大切ですね。

.....キリトリセン.....

<保護者からの一言 学年だより第45号>

2年 組 番<氏名>

音楽の「箏の授業」から♪

今井先生から音楽の授業の感想です。

箏の授業から

2月第二週、第三週の音楽授業は、箏の授業でした。「楽器（箏）や曲（さくらさくら）の特徴やよさを生かして演奏する」学習です。

下の四つを前提に、授業に入りました。

- 靴をきれいに揃えて脱ぐ
- 楽器を決してまたがない
- 楽器に向かって足を投げ出さない
- 挨拶と演奏は正座で行う

今年、例年にもまして素晴らしいと思ったことがあるので、記します。

- ①箏を目の前にして、内心テンションが上がっていても、落ち着いて入室できました。
- ②楽器をまたがないことに細心の注意を払っていて、自然と摺り足になっていました（能楽師みたいでした）。
- ③「一音弾いたら、音が消えるまでよく聞いて」と言うだけで、一音を余韻が消えるまでじっくり味わうことができました。
- ④『虫づくし（箏の手習曲）』も『さくらさくら』も演奏の間（ま）が自然と合いました。

③④については、一回でできないのは折込済。だから「あー、残念、せっかくの余韻を最後まで聞いて。」「焦らず、歌に合わせて演奏すれば、間が合うよ。」といったセリフを用意しているのですが、今年は使う必要がありませんでした。

君たちには既に、よく聴く姿勢、よく聴いて周りとの音を合わせる姿勢を身に付けていたのですね。これはとても価値あることです。誇りに思ってください。

さて、来週からは過去2時間で学習したことを生かし、かつ「自分はどう弾きたいか」を大切にして、『さくらさくら』を練習・録画提出してもらいます。

どんな演奏が生まれるのか、今からとても楽しみです。

*保護者の皆さま、ぜひお子さんの演奏をタブレットでご覧ください。音を大切にしていることがよくおわかりいただけるかと思います。

最後に、衝撃的な事実を紹介します。みなさんは、どう受け止めますか。

【2019.2.25 朝日新聞デジタル版より】

一般社団法人・全国邦楽器組合連合会（全邦連）がまとめた三味線、箏などの年間製造数のことです。三味線は1970年の1万8千が2017年には3400に。箏も2万5800から3900まで落ち込んでいます。

*詳しく知りたい方は

<https://www.asahi.com/amp/articles/ASM2M3W93M2MUCVL00Y.html>